

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	コミュニケーションサポートⅡ						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	宮城島 進一						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団行動や活動を通して、集団内での行動のあり方について学ぶ。 ・ コミュニケーション力を高める。 						
授業手法	・ 対面 <input type="radio"/>	・ 遠隔 <input type="checkbox"/>	・ 対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・ オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>	反転授業		調査授業	フィールドワーク		
	双方向アンケート	ペアワーク		グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ		
	プレゼンテーション	PBL		模擬授業	その他		
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	始業式			<ul style="list-style-type: none"> ① 式でのふさわしいマナーが身に付く ② マナーに関して理解が深まる ③ 異文化理解が深まる ④ 日本文化への理解が深まる ⑤ コミュニケーション能力が身に付く ⑥ クラス以外の人との交流が深まる 		
	3～4	マナーコンテスト					
	5～6	前期終業式					
	7～10	後期始業式、防災訓練					
	11～12	ランゲージデイ					
	13～15	校外文化研修準備					
	16～25	校外文化研修					
	26	校外文化研修振り返り					
	27	終業式					
	28～29	ニューイヤーセミナー、始業式					
	30	終業式					
成績評価方法	出席点						
使用テキスト ／教材	無し						
関連科目	コミュニケーションサポートⅠ、コミュニケーションサポートⅡ						
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	パソコン演習 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	松川 麻美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	基本的なPC操作の知識とスキルの習得を目指します。日本語タイピング入力、Excelで計算やグラフの入った表作成、Wordでさまざまなビジネス文書作成を習得していきます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔 ○	・対面/遠隔 ○	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業 ○		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク ○		グループワーク ○		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	パソコンや入力操作の基本 日本語タイピング					
	3～6	Windows基本操作 メールとTeamsの利用			① パソコンの基本操作が理解できる		
	7～8	情報モラルと情報セキュリティ			② データの管理方法が理解できる		
	9～12	Excel演習 Excelの基本			③ スムーズに日本語入力ができる		
	13～16	Excel演習 表の作成と編集			④ メールやWebコミュニケーション		
	17～20	Excel演習 数式と参照			について理解できる		
	21～30	Excel演習 課題			⑤ 情報モラルや情報セキュリティ		
	31～32	Word演習 基本操作、書式設定			について理解できる		
	33～36	Word演習 ビジネス文書作成			⑥ Excelの概要と基本操作ができる		
	37～40	Word演習 表の作成と編集			⑦ さまざまな機能や数式を理解できる		
	41～48	表計算検定模擬練習			⑧ Wordの概要と基本操作ができる		
	49～50	表計算検定試験			⑨ さまざまなビジネス文書を作成できる		
	51～59	日本語ワープロ検定模擬練習			⑩ 日本語でのタイピング速度が速くなる		
	59～60	日本語ワープロ検定試験			⑪ 表計算検定試験を受験できる		
				⑫ 日本語ワープロ検定試験を受験できる			
成績評価方法	【前】課題（80%）、出席率（10%）、態度・姿勢（10%） 【後】検定（40%）、模擬（40%）、出席率（10%）、態度・姿勢（10%）						
使用テキスト ／教材	留学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint 入門（技術評論社） 日本語ワープロ検定試験問題集・情報処理検定試験 表計算問題集						
関連科目	パソコン演習 II						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	キャリアサポートⅡ						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	個々の価値観を実現するキャリア形成をスタートする。労働の意義と職業観を確立し、日本国内における就労許可を獲得するための就活を2月に具体化できる。						
授業手法	・対面		・遠隔		・対面/遠隔	○	・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授 業 計 画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1 ~ 4	日本における就労資格と日本の新卒採用			① 日本社会の新卒採用制度を理解する		
	5 ~ 8	日本企業と労働者、企業の求める人材の理解			② 求める人材像を理解する		
	9 ~ 12	就職活動のプロセス理解と、支援サイトの利用			③ 就活のプロセスを理解する		
	13 ~ 16	社会保険制度を理解する			④ 社会保険制度と福利厚生を理解する		
	17 ~ 20	日本企業の福利厚生制度を知る			⑤ VISAに適合する職種の絞り込み		
	21 ~ 24	職種と業界、VISAと適合職種を理解する			⑥ 自己分析 自己の強み語句を決める		
	25 ~ 28	自己分析と強み語句の理解			⑦ 志望動機と3年後の姿を確立する		
	29 ~ 32	自己の価値観と労働の種類			⑧ 具体的な企業研究をする		
	33 ~ 36	日本企業の研究①			⑨ 履歴書の準備ができる		
	37 ~ 40	日本企業の研究②			⑩ 履歴書を完成させる		
	41 ~ 44	履歴書の書き方と準備			⑪ 履歴書の制度をあげる		
	45 ~ 48	履歴書を書く			⑫ 作文の演習を行い添削を受ける		
49 ~ 52	自己PR作文の演習			⑬ 実践的なアプローチを行う			
53 ~ 56	志望動機作文の演習						
57 ~ 60	実践的な就活を開始する						
成績評価方法	【前】・前期筆記試験（30%）、前期課題（30%）、出席率（40%） 【後】・後期課題（50%）、出席率（50%）						
使用テキスト ／教材	①キャリアデザインノート （オリジナルテキスト）		②配布資料 （授業時配布）		③PPTシート （授業時配布）		
関連科目	キャリアサポートⅠ、キャリアサポートⅡ						
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	サービスマネジメント I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	齋藤 悦子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	サービス接客検定試験3級の勉強を通して、日本の一般常識、社会常識を学び、サービスマインドを身につけます。日本での就職に向け、対人スキルを体得し、本格化する就職活動に向け準備を進めていきます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	マナーの基礎知識・マナーブックの復習			10項目程度		
	3~8	サービススタッフの資質			① S-AIRのマナーを身につける。		
	9~14	専門知識			② スーツ着用時、清潔感や爽やかさのある身だしなみを整えることができる。		
	15~20	一般知識			③ サービススタッフとして愛想、愛嬌の大切さを理解する。		
	21~26	対人技能			④ 接客用語を理解し、使えるようになる。		
	27~32	実務技能			⑤ サービス業に関わる年中行事、商業用語、経済用語を理解する。		
	33~34	前期末テスト			⑥ 慣用表現、カタカナ用語を理解する。		
	35~40	ロールプレイング試験対策			⑦ 挨拶やお辞儀の仕方を中心とする一般的なマナー、礼儀作法を心得ることができる。		
	41~46	検定対策			⑧ 状況に合わせて適切な敬語を使えるようになる。		
	47~60	就職試験準備（模擬面接）			⑨ 話し方によって気配り、気遣いを表現できるようになる。		
					⑩ 面接で自己表現できるようになる。		
成績評価方法	[前]・出欠席（30%）・平常点（マナー・提出物）（30%）・学期末試験（40%） [後]・出欠席（30%）・平常点（マナー・提出物）（30%）・検定試験結果（40%）						
使用テキスト ／教材	サービス接客検定公式テキスト3級・サービス接客検定実問題集3級（早稲田教育出版） マナーブック						
関連科目	サービスマネジメント II						
その他	身だしなみを整えて受講すること。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	TOEIC I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	田中 彰子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	・ TOEICテストで600点以上を取る。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	自己紹介、テキスト紹介、授業の進め方			① TOEICによく出る英単語を覚える ② 同義語を考える ③ 英文法を理解する ④ 文章をすばやく読む力をつける ⑤ 質問の意図を理解する ⑥ 推測する力を養う ⑦ 時間管理ができる ⑧ 正しい発音を身につける		
	3～12	単語テスト					
	13～20	単語本の短文を聞いてリピートする					
	21～40	リーディングテストを解く					
	41～60	リスニングテストを解く					
成績評価方法	IPテスト結果（50%）、授業への取り組み（30%）、出席率（20%）						
使用テキスト ／教材	『TOEICテスト新形式精選模試リスニング2』 『TOEICテスト新形式精選模試リーディング2』 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』						
関連科目	TOEIC II						
その他	コツコツ頑張って、スコアアップを目指しましょう！						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	面接対策						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	安森 亜寿香						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・実習	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	面接に必要な準備や対策を行い、面接の際に自分を表現できるようになる。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～5	学生時代に力を入れたこと			① 就職活動に必要な準備がわかる ② エントリーシートが書ける ③ 面接時のマナーがわかる ④ 面接で聞かれる質問への準備ができる ⑤ 自己PRが書ける ⑥ 自分の魅力を伝えることができる		
	6～15	自己PR					
	16～25	志望動機					
	26～30	マナー（印象、服装、会話、電話）					
	31～45	面接で聞かれる質問への準備					
	46～60	模擬面接					
成績評価方法	授業への取り組み60% 課題の提出30% 出席率10%						
使用テキスト ／教材	『留学生のための就職内定ワークブック』						
関連科目							
その他	準備と練習をたくさん行って、自信を持って面接に臨めるようにしましょう。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ビジネス言語演習Ⅱ						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	今野 政江						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	300	10	
授業目的 到達目標	日本語能力試験N1の取得を目指す。仕事の場面で円滑に業務ができる日本語力を付ける。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～90	語彙力の向上			10項目程度		
	91～180	文法形式の意味と用法			① 語彙力がつき、正しく運用できる		
	181～211	読解：評論、解説、エッセイ等の文章問題を解く			② 文法の意味を理解し、正しく運用できる		
	212～242	読解：広告、お知らせ、説明書き等の問題を解く			③ 時間を意識して読解文を読む力がつく		
	243～270	読解：実戦問題演習			④ 時間を意識して読解の設問を解く力がつく		
	271～283	語彙・文法：実戦問題演習			⑤ 日本語のニュース記事が読める		
	284～288	ニュース発表・スピーチ			⑥ ニュース記事の概要が説明できる		
	289～294	模擬試験・解説			⑦ 自分の意見・考えを発話する力がつく		
	295～300	期末試験・解説					
成績評価方法	期末試験（70%） 授業への取り組み（20%） 出席率（10%）						
使用テキスト ／教材	語彙・文法：『新完全マスター』スリーエーネットワーク 読解：【前期】必修パターン読解						
関連科目	ビジネス言語演習Ⅰ、ビジネス言語演習Ⅲ						
その他	授業で学習した内容を定着させるために、宿題と復習は必ずやってくること。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	エアラインTOEIC対策 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	松永 清美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修選択	60	4	
授業目的 到達目標	エアライン採用試験に向けTOEIC600点取得を目指す。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～8	授業説明、模擬テスト及び解答と解説			①TOEIC各パートの特徴を理解する		
	9～14	ハーフテスト、解答と解説			②自分の聴解力と読解力を把握する		
	15～30	Unit 1～Unit8			③目標点数を明確にする		
	31～32	前期末テスト			④自分に必要な課題に取り組み、目標点数を取得する		
	33～36	Unit 9～10					
	37～42	ハーフテスト、解答と解説			⑤英語の音声に近い発音の習得をする		
	43～50	Unit 11～14			⑥仕事で使えるフレーズや単語を身につける		
	51～56	ハーフテスト、解答と解説					
	57～58	Unit 15					
	59～60	後期末テスト					
成績評価方法	期末テスト・小テスト（50%）、平常点（50%）（出席率・授業態度・課題提出）						
使用テキスト ／教材	『SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BEGINNER』 『はじめてのTOEIC L&Rテストハーフ模試3回分』『TOEIC L&Rテストボキャブラリーブスター』						
関連科目	エアラインTOEIC対策Ⅱ・TOEIC上級						
その他	諦めず強い意志をもって学習し、目標を達成しましょう。電子辞書、または英和辞典を持参すること						

授業科目名	エアライン筆記試験対策						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	不得意とする非言語分野の学力向上をし、採用試験（SPI）で成果を出す						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1 ~ 2	基礎学力の確認と基本計算力			① 基本的計算力が定着する		
	3 ~ 4	数学的各種基本単位の修得			② 代数を扱える		
	5 ~ 6	基礎数学の考え方（百分率）			③ 百分率の計算ができる		
	7 ~ 8	基礎数学の考え方（距離、時間、速さ、容積）			④ 推論に対して情報を図示できる		
	9 ~ 10	割合と損益計算			⑤ 確率の考え方を習得して問題を解ける		
	11 ~ 12	推論と命題			⑥ 順列と組み合わせの相違を理解する		
	13 ~ 14	確率、組合せ、順列			⑦ 順列・組み合わせの問題が回答できる		
	15 ~ 16	集合の理論			⑧ 逆数を理解し仕事算問題を解ける		
	17 ~ 18	仕事算の考え方			⑨ 表とグラフの解釈ができる		
	19 ~ 20	表とグラフ			⑩ グラフの領域問題が解ける		
	21 ~ 22	資料解釈におけるデータの見方			⑪ 時間内での問題回答数をあげられる		
	23 ~ 26	SPI 実践対策（練習問題による演習含む）			⑫ 設問に対する解法の手段を選定できる		
27 ~ 30	傾向理解と総合演習						
成績評価方法	【前期】・期末筆記試験（50%）、出席率（50%） 【後期】・期末筆記試験（40%）、後期課題（30%）、出席率（30%）						
使用テキスト ／教材	教材：キャリアデザインノート（オリジナルテキスト） 副教材（演習問題用）：これが本当のSPI3だ（講談社）						
関連科目							
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	客室実習 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	阪本 知恵						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	保安要員とサービス要員の二つの役割を理解しその責任を全うするために必要な考え方、資質を身につけることを目標とします。実習を通し正しい言葉遣い、立居振舞を身につけます。						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="checkbox"/>		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク <input type="checkbox"/>		グループワーク <input type="checkbox"/>		ロールプレイ <input type="checkbox"/>
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	概要説明、目標設定、スケジュール			① 2年間の明確な目標設定と月ごとの目標、日々の目標等を定めることができる ② 客室乗務員の業務がわかる ③ 客室乗務員に必要な資質がわかり、身につけるために必要なことを学ぶ ④ 実際のサービスについて知り、実践できる ⑤ 学んだことを他コースの学生へ提供できる ⑥ 機内の設備や装備品について知識を得る ⑦ 保安用品や保安業務の重要性を知る ⑧ 緊急時対応について学び、実際に脱出研修で体験する ⑨ 客室乗務員の大切な業務や必要な資質を知り目指す姿を明確にする		
	5～6	業務の流れ、客室乗務員の資質、接客用語					
	7～10	FDA様連携授業					
	11～12	国内研修					
	13～16	サービス業務復習					
	17～20	前期末試験					
	21～24	前期復習、マインドセット					
	25～30	FDA様連携授業					
成績評価方法	・出欠席（20％）・授業内取り組み（25％）・各学期末試験（45％）・FDA様評価（10％）						
使用テキスト ／教材	・エアラインテキスト(オリジナル)						
関連科目	客室実習Ⅱ、秘書知識（選択）						
その他	身だしなみを整えて受講すること（女子学生はスカーフ着用必須） ※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	航空基礎知識						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	航空業界の仕事を理解し、客室乗務員として身に付けておきたい専門用語や航空機に関わる知識の習得を目標とします。併せて航空機や運航に関わる気象やルートについても学びます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク	グループワーク ○	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	DVD資料鑑賞を用いたグループワーク、 主要空港コード			① 国内外主要航空会社コードを理解できる。 ② 国内外主要空港コードを理解できる。 ③ アルファベットコードを理解し、様々な 単語をコードに変換し表現できる。 ④ 基本的な専門用語、危険物知識、手荷物 のルールが理解できる。 ⑤ 出入国知識、CIQ各分野の役割を理解できる。 ⑥ アライアンスの仕組みを理解し、グループ分 けができる。 ⑦ 航空機が飛ぶ原理が分かる。 ⑧ 様々な航空機の特徴を知り、航空機に 興味を持てる。 ⑨ 空港の機能と設備を知ること、働く環境の の理解ができる。 ⑩ 空の安全性を気象状況を含めて理解できる。		
	3～4	主要航空会社コード、アライアンス					
	5～10	専門用語、アルファベットコード					
	11～12	小テスト					
	13～16	基本的な危険物及び手荷物ルール					
	17～18	出入国知識（旅券・査証・CIQ）					
	19～20	前期期末本試験					
	21～22	航空機概論					
	23～24	機体の構造を知る					
	25～26	世界の航空機と製造メーカー					
	27～28	空港の機能と設備					
	29～30	航空気象と空の安全					
成績評価方法	前期期末本試験60%、小テスト30%、出席率及び授業態度10%						
使用テキスト ／教材	航空基礎知識テキスト（オリジナル）、講師作成資料、夢のお仕事シリーズDVD						
関連科目	客室実習Ⅱ						
その他	小テストは1回のみの実施の為、欠席の場合は課題提出にて評価とする。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	面接対応 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	阪本 知恵						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	客室乗務員の採用面接試験を突破することを目的とします。第一印象の好感度を上げ、自己表現力を磨きます。自己分析を徹底的に行います。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔		・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク ○		グループワーク ○		ロールプレイ
	プレゼンテーション ○		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	航空業界の面接を知る			① 航空業界の採用面接試験について知る ② 今まで歩んできた道を振り返り、そこで学んだもの、興味のあるものを考える ③ 自己分析を徹底し、自己を理解する ④ 自分の長所を見つけ上手にアピールできる ⑤ 自分以外の人に伝えたいことが明確に伝わる ⑥ 表情良く話ができる ⑦ 適切な言葉遣いができる ⑧ 第一印象を作り上げる ⑨ 声のトーンや、美しい所作で振舞える		
	3～4	立ち姿 座り姿 入退室 第一印象					
	5～8	自己分析 表情コントロール					
	9～14	エントリーシート対策（自己PR、志望動機等）					
	15～18	模擬面接（過去のエントリーシートに基づく）基本					
	19～22	模擬面接（過去のエントリーシートに基づく）企業ごと					
	23～26	企業様就活特別授業 模擬面接					
	27～30	ディスカッション 就職対策に向けて					
成績評価方法	・ 出欠席（30%） ・ 提出物、取り組み姿勢（40%） ・ 各学期末試験（30%）						
使用テキスト ／教材	面接テキスト（オリジナル）						
関連科目	面接対応 II						
その他	・ 身だしなみを整えて受講すること ※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	手話演習						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	大川 香織						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	全国手話検定 5 級試験合格を目指す						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	あいさつ			① 基本的な単語を覚える ② 表情を豊かに表す ③ 手話は言語であることを知る ④ 聴覚障害について理解する ⑤ 全国手話検定 5 級合格を目指す ⑥ 検定試験練習で出題傾向に慣れる ⑦ 手話単語の復習を必ずすること ⑧ 伝える努力をする		
	3~4	数字					
	5~6	家族					
	7~8	復習					
	9~10	趣味					
	11~12	職業					
	13~14	聴覚障害について（ゲストろう講師）					
	15~16	前期試験					
	17~18	学生生活					
	19~20	一日/5 級単語①					
	21~22	一週間/小テスト/5 級単語②					
	23~24	一年/小テスト/5 級単語③					
	25~26	復習/小テスト/5 級単語④					
	27~30	手話検定 5 級試験練習（ろう講師授業含む）					
成績評価方法	前期：前期試験（70%）、出席（30%） 後期：検定試験合格（70%）、出席（30%）						
使用テキスト ／教材	静岡発～手話は言語～手話学習テキスト（静岡県聴覚障害者協会発行）						
関連科目	サービス介助						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

授業科目名	エアラインマインドⅠ						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	小尾 純子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	客室乗務員の適性を理解し、その姿に自分自身を近づける。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業の目標の理解			① 客室乗務員の適性を理解する。 ② 自己管理能力の習得 ③ 客室乗務員向きの生活習慣の体得 ④ 客室乗務員向きの印象を作る。 ⑤ 客室乗務員向きのコミュニケーション法 ⑥ 感覚が鋭くなる。 ⑦ 肯定的思考力の体得		
	3～4	客室乗務員になって何がしたいか					
	5～6	心と身体を整える①英語週間に向けて					
	7～8	航空会社と客室乗務員					
	9～10	客室乗務員の仕事と適性 国内研修に向けて					
	11～12	印象の大切さ					
	13～14	心と身体を整える②国内研修を終えて					
	15～16	国内研修振り返り逆算での生活					
	17～18	評価					
	19～20	客室乗務員のやりがい EDT, 羽田研修に向けて					
	21～22	見られている意識					
	23～24	体力維持とセルフケア					
	25～26	肯定的思考力					
27～28	言葉を磨く						
29～30	評価						
成績評価方法	出欠席（40％）、提出物（30％）、期末テスト（30％）						
使用テキスト ／教材	講師オリジナル書き込みノート						
関連科目	エアラインマインドⅡ、異文化研究						
その他	※実務経験がある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	旅客実習 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	グランドスタッフに必要な業務知識の基礎と基本的な接客スキルやホスピタリティを身に付けることを目標とします。実践に結びつくロールプレイを通して、業務への理解をさらに深め、将来グランドスタッフとして活躍できることを目指します。また、12時間は（株）ドリームスカイ名古屋との連携授業です。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔		・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	空港支援業務とは。グランドスタッフ業務の概要、必要なスキル・資質・アピアランス					
	3～4	カウンター業務基礎知識（各種コード・搭乗手続き）				①空港の業務を知ることができる	
	5～8	6月19日：第1回（株）ドリームスカイ名古屋連携授業				②航空業界の各コードを理解することができる	
	9～10	国内線搭乗手続きロールプレイングテスト、搭乗手続き案内アナウンス				③日本語・英語で搭乗手続きができる	
	11～12	手荷物、バゲージクレームタグ・リミテッドリリース				④危険物を理解して手荷物預かりの案内ができる	
	13～14	搭乗口業務基礎知識（出発・NOSH）、制限旅客				⑤伝わるアナウンスができる（日・英語）	
	15～16	前期評価試験				⑥可搬の使って交信ができる	
	17～20	9月18日：第2回（株）ドリームスカイ名古屋連携授業				⑦あらゆる種類の手荷物タグの役割を理解できる	
	21～22	国際線基礎知識（渡航書類）、LL業務、危険物				⑧搭乗口での一連の業務を理解できる	
	23～24	国際線チェックインロールプレイングテスト（英語）、他コース連携授業				⑨国際線、渡航書類についての知識を得る	
	25～28	10月23日：第3回（株）ドリームスカイ名古屋連携授業				⑩おもてなしの心を理解できる	
	29～30	後期評価試験					
成績評価方法	【前期】期末筆記試験（60%）、ロールプレイ（20%）、平常点（20%）（授業態度、出欠席） 【後期】期末筆記試験（50%）、ロールプレイ（20%）、連携企業評価（10%）、平常点（20%）（提出物、出欠席）						
使用テキスト ／教材	旅客実習テキスト（オリジナル）、教員作成プリント						
関連科目	旅客実習 II						
その他	アピアランスを整えて授業に参加すること。制服・スカーフ着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	TIM I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	後期	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	国際線の搭乗手続き時に必須である、各国の旅券・査証・入国の際の規則についての英文をTIM(Travel Information Manual)を用いて読み取る基礎力を身に付けます。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク	グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	海外渡航における旅券、査証、TIMの重要性			①TIMの重要性を理解できる。 ②授業で取り上げた各国の空港コードを理解できる。 ③入国時における旅券の必要残存期限を計算することができる。 ④授業で取り上げた各国の査証の有無を理解できる。 ⑤入国時における無査証での滞在可能日数を計算することができる。 ⑥英文でのTIMATICの文面に慣れ、重要な箇所を見つけることができる。 ⑦あらゆる旅程からTIMATICを見て搭乗手続きの可否を判断できる。		
	3～4	電子渡航認証について					
	5～6	日本国籍：シンガポール行きTIM内容					
	7～8	日本国籍：台湾行きTIM内容					
	9～10	日本国籍：韓国行きTIM内容					
	11～12	日本国籍：中国行きTIM内容					
	13～14	日本国籍：オーストラリア行きTIM内容					
	15～16	日本国籍：アメリカ行きTIM内容					
	17～18	日本国籍：フィリピン行きTIM内容					
	19～20	小テスト					
	21～24	無査証滞在可能期間及び旅券残存期間の計算					
	25～28	演習、総復習					
	29～30	後期期末本試験					
成績評価方法	後期期末本試験（60%）、小テスト（30%）、出席率及び授業態度（10%）						
使用テキスト／教材	旅客実習テキスト、講師作成資料						
関連科目	TIM II						
その他	電子辞書、電卓を持参すること。 小テストは1回のみの実施の為、欠席の場合は課題提出にて評価とする。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	航空基礎知識						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	前期	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	航空業界の仕事を理解し、そこで働く者にとって必須知識である専門用語、レターコードの習得を目標とします。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク	グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	DVD資料鑑賞を用いてのグループワーク、主要空港コード			①国内外主要航空会社コードを理解できる。 ②国内外主要空港コードを理解できる。 ③アルファベットコードを理解し、様々な単語をコードに変換し表現できる。 ④基本的な専門用語、危険物知識、手荷物ルールを理解できる。 ⑤出入国知識、CIQ各分野の役割を理解できる。 ⑥アライアンスの仕組みを理解し、グループ分けができる。		
	3~4	主要航空会社コード、アライアンス					
	5~10	航空業界における専門用語					
	11~12	アルファベットコード					
	13~14	小テスト					
	15~20	基本的な危険物及び手荷物ルール					
	21~26	出入国知識（旅券・査証・CIQ）					
	27~28	総復習					
	29~30	期末本試験					
成績評価方法	期末本試験（60％）、小テスト（30％）、出席率及び授業態度（10％）						
使用テキスト ／教材	航空基礎知識テキスト（オリジナル）、講師作成資料、夢のお仕事シリーズDVD						
関連科目	航空予約システム演習Ⅱ、旅客実習Ⅱ						
その他	小テストは1回のみの実施の為、欠席の場合は課題提出にて評価とする。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	S P I 対策						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	不得意とする非言語分野の学力向上をし、採用試験（S P I）で成果を出す						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1 ~ 2	基礎学力の確認と基本計算力			① 基本的計算力が定着する		
	3 ~ 4	数学的各種基本単位の修得			② 代数を扱える		
	5 ~ 6	基礎数学の考え方（百分率）			③ 百分率の計算ができる		
	7 ~ 8	基礎数学の考え方（距離、時間、速さ、容積）			④ 推論に対して情報を図示できる		
	9 ~ 10	割合と損益計算			⑤ 確率の考え方を習得して問題を解ける		
	11 ~ 12	推論と命題			⑥ 順列と組み合わせの相違を理解する		
	13 ~ 14	確率、組合せ、順列			⑦ 順列・組み合わせの問題が回答できる		
	15 ~ 16	集合の理論			⑧ 逆数を理解し仕事算問題を解ける		
	17 ~ 18	仕事算の考え方			⑨ 表とグラフの解釈ができる		
	19 ~ 20	表とグラフ			⑩ グラフの領域問題が解ける		
	21 ~ 22	資料解釈におけるデータの見方			⑪ 時間内での問題回答数をあげられる		
	23 ~ 26	S P I 実践対策（練習問題による演習含む）			⑫ 設問に対する解法の手段を選定できる		
27 ~ 30	傾向理解と総合演習						
成績評価方法	【前期】・期末筆記試験（50%）、出席率（50%） 【後期】・期末筆記試験（40%）、後期課題（30%）、出席率（30%）						
使用テキスト ／教材	教材：キャリアデザインノート（オリジナルテキスト） 副教材（演習問題用）：これが本当のS P I 3だ（講談社）						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	TOEICボキャブラリー						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	グランドスタッフ採用試験の英語の資格基準、TOEIC550点の取得を目指し、ボキャブラリーの強化からスコアアップすることを目標とします。また、TOEIC形式の問題も組み込み、反復演習によってボキャブラリーのビルドアップを目指します。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	TOEIC戦略方法、授業の進め方、Unit1					
	3～4	Unit2&Unit3			①頻出単語のビルドアップができる		
	5～6	Unit4&Unit5			②単語の意味の即答ができる		
	7～8	Unit6&Unit7			③品詞の見極めができる		
	9～10	Unit8&Unit9			④Part5を強化できる		
	11～12	前期試験			⑤リーディング問題から単語を理解できる		
	13～14	Unit10&Unit11			⑥リーディング問題の解答時間を短縮できる		
	15～16	Unit12&Unit13					
	17～18	Unit14&Unit15					
	19～20	Unit16&Unit17					
	21～22	Unit18&Unit19					
	23～26	まとめ					
	27～28	模擬試験					
29～30	後期試験						
成績評価方法	期末試験（50％）、小テスト（40％）、出席・授業態度（10％）						
使用テキスト／教材	TOEIC L&R テスト ボキャブラリーブスター（アルク）、教員作成プリント						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他	辞書を持参すること。Unitごとに毎回確認テストを実施するので、復習をしっかりと行い備えること。						

授業科目名	面接対応						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	航空業界の面接試験の対応力を対面・オンラインの両面から習得することを目標とします。姿勢や発声、第一印象等に繋がるアビアランスも強化し、自分の出した回答からの質問にも答えられる瞬時の判断力と会話の引き出しを増やすことを目指します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL	○	模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	面接の基本マナー①（身だしなみ・姿勢・発声・表情）					
	3～4	面接の基本マナー②（入室・退室、名乗り、お辞儀）			①自己について知る		
	5～6	自己分析①、自己紹介			②面接基本動作ができる		
	7～8	WEB面接対応術			③WEB面接の心得を知る		
	9～10	自己分析②			④印象の良い聴講姿勢を保つことができる		
	11～12	自己PR			⑤回答の引き出しをビルドアップできる		
	13～14	面接の基本的な質問			⑥協調性をもって取り組むことができる		
	15～16	前期評価（模擬面接）			⑦将来のビジョンを答えることができる		
	17～18	グループディスカッション			⑧自分の回答に責任を持って答えることができる		
	19～20	企業研究					
	21～22	志望動機					
	23～28	企業別過去質問による面接					
	29～30	後期評価（模擬面接）					
成績評価方法	期末試験（模擬面接）（60%）、授業内発表（30%）、授業態度・出欠席（10%）						
使用テキスト ／教材	面接テキスト(オリジナル)、教員作成プリント						
関連科目	プレゼンテーション、GSキャリアデザイン						
その他	身だしなみを整え、制服着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	航空予約システム演習 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習		2	後期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	国際線の航空予約システムamadeusの操作習得を目標とします。空港・航空会社コード等の基本的な検索から、フライト情報や空席照会を学ぶことで、基本的な予約を作成するスキルを習得することを目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	Amadeus Selling Platformの起動と終了コマンド					
	3～4	ヘボン式つづり			①アマデウスシステムの使い方を知る		
	5～8	情報の検索・照会			②ヘボン式ローマ字を覚え入力できる		
	9～12	空港コード、航空会社コード			③情報の検索の種類を覚え、 クイックガイドから探せる		
	13～14	タイムテーブル、フライトスケジュール			④タイムテーブルを検索し読み取ることができる		
	15～16	空席照会			⑤フライトスケジュールを検索し読み取ることができる		
	17～18	フライトの予約、ダイレクトアクセス			⑥空席照会をし読み取ることができる		
	19～22	フライトの予約（乗継便）			⑦空席照会から基本的な予約ができる		
	23～28	PNR (Passenger Name Record)の作成			⑧ダイレクアクセスが理解できる		
	29～30	後期評価			⑨PNRを読み取ることができる		
				⑩基本的なPNRを作成できる			
成績評価方法	期末試験（70%）、小テスト（20%）、出席・授業態度（10%）						
使用テキスト ／教材	ユーザーガイド予約・アマデウス予約クイックガイド（amadeus発行）、教員作成プリント						
関連科目	航空予約システム演習Ⅱ						
その他	空港コード、航空会社コード等、オペレーションに必要なコードは必ず覚えていくこと。 分野ごとに確認テストを実施するので、きちんと復習をすること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	グランドハンドリング概論						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	望月 照夫						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	空港におけるグランドハンドリング作業について、作業の種類と順序、制約時間、使用機材について理解する。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	グランドハンドリングとは・空港の施設と名称			① グランドハンドリングの概要の理解 ② 空港の施設とその機能が説明できる ③ 機側作業のフローチャートを描ける ④ 作業に使われるGSEと機能を説明できる ⑤ ULDの区別と搭載可能な機体を理解する ⑥ ロードシートが読めること ⑦ 航空貨物の特徴と種類が説明できる ⑧ 特別な貨物の種類と取扱いを理解する ⑨ 取扱ラベル・危険物ラベルの知識がある ⑩ 貨物の種類と必要な文書を理解している		
	3～4	ステイタイムと機側作業					
	5～6	GSEの機能と機側作業					
	7～10	中部スカイサポート株式会社様 連携授業					
	11～14	機体とULD					
	15～16	前期期末試験					
	17～20	中部スカイサポート株式会社様 連携授業					
	21～22	航空貨物					
	23～26	中部スカイサポート株式会社様 連携授業					
	27～28	航空貨物の種類					
	29～30	後期期末試験					
成績評価方法	期末試験（60％）、出席率・授業態度（40％）						
使用テキスト ／教材	航空機のグランドハンドリング（日本航空技術協会）・自作プリント						
関連科目	旅客実習Ⅱ						
その他	グランドハンドリングに興味を持ち、その仕事に就職できるよう期待します。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	手話 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	大川 香織						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	全国手話検定 5 級試験合格を目指す						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	あいさつ			① 基本的な単語を覚える ② 表情を豊かに表す ③ 手話は言語であることを知る ④ 聴覚障害について理解する ⑤ 全国手話検定 5 級合格を目指す ⑥ 検定試験練習で出題傾向に慣れる ⑦ 手話単語の復習を必ずすること ⑧ 伝える努力をする		
	3~4	数字					
	5~6	家族					
	7~8	復習					
	9~10	趣味					
	11~12	職業					
	13~14	聴覚障害について（ゲスろう講師）					
	15~16	前期試験					
	17~18	学生生活					
	19~20	一日/5 級単語①					
	21~22	一週間/小テスト/5 級単語②					
	23~24	一年/小テスト/5 級単語③					
	25~26	復習/小テスト/5 級単語④					
	27~30	手話検定 5 級試験練習（ろう講師授業含む）					
成績評価方法	[前期] 前期試験（70%） 出席（30%） [後期] 検定試験合格（70%） 出席（30%）						
使用テキスト ／教材	静岡発～手話は言語～手話学習テキスト（静岡県聴覚障害者協会発行）						
関連科目	手話Ⅱ、サービス介助						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	国内運賃料金業務						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	白鳥 佑弥						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	JR各社における運賃・料金計算手法の習得を目標とします。割引の種類、団体計算手法や貸切バス・フェリー、国内航空運賃の種類についても学習します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	国内のJR路線について、新幹線について				① 国内のJR・新幹線の基本と 運賃・料金計算の理解 ② 貸切バス規則と料金計算の理解 ③ フェリー規則と料金計算の理解 ④ 宿泊規則と料金体系の理解	
	3～4	時刻表の見方					
	5～8	JR運賃計算の基本と演習					
	9～10	有効期限、運賃の割引					
	11～12	新幹線の料金基礎					
	13～16	運賃料金計算基礎演習					
	17～22	シーズン料金、グリーン料金、寝台料金、乗継割引規則					
	23～26	新幹線内乗継計算、乗継割引計算					
	27～28	運賃計算特例					
	29～30	貸切バス規則と料金計算、フェリー規則と料金計算、宿泊規則と料金体系					
成績評価方法	評価試験（60％）、小テスト（30％）、出席率・学習意欲（10％）						
使用テキスト ／教材	ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン、 科目別問題集、国内運賃料金テキスト、JR時刻表						
関連科目	ツアープランニング基礎、海外実務総合						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	国内観光地理						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	乗松 陽子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	日本国内における観光資源の知識習得を目標とします。 所在地・プロフィール・温泉・祭・名産品など、観光資源全般について学習します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～3	国内の観光基礎情報（都道府県、世界遺産、交通）					
	4～6	全国的に有名な温泉地や周辺観光素材、日本三大・三名観光地			① 国内地理検定初級合格		
	7～10	北海道・東北地方の観光情報			② 国内旅行業務取扱管理者合格		
	11～12	関東・中部地方の観光情報			③ 所在地が覚えられる		
	13～14	近畿地方の観光情報			④ 立公園がわかる		
	15～18	中国・四国地方の観光情報			⑤ 世界遺産がわかる		
	19～22	九州地方・沖縄の観光情報			⑥ お土産がわかる		
	23～30	まとめ・過去問			⑦ 三名数がわかる		
					⑧ 交通がわかりプランニングに紐付け出来る		
					⑨ 各都道府県の観光地を身に付ける		
				⑩ 温泉知識			
成績評価方法	評価試験（30%）、小テスト（20%）、サブノート仕上げ（30%）、出席率・学習意欲（20%）						
使用テキスト ／教材	国内観光資源、国内観光資源サブノート、旅地図日本						
関連科目	ツアープランニング基礎、海外観光地理						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	旅行業務基礎						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	乗松 陽子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	旅行パッケージ商品についての学習。パンフレットの記載事項の読解の習得。パンフレットより宿泊の料金計算。旅行業に必要なマナーを身に付けます。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	旅行会社の仕組み等、旅行業界の全般的な知識					
	7～14	パンフレットより料金計算（大人）			① 国内パンフレットの基本知識		
	15～20	カウンターでの接客ロールプレイング（大人）			② 料金表の見方が分かるようになる		
	21～26	パンフレットより料金計算（子供）			③ お客様の要望に応じた施設案内が出来る		
	27～28	カウンターでの接客ロールプレイング（小人）			④ 旅行業界の仕組みが理解が出来る		
	29～30	まとめ・課題制作			⑤ 宿泊料金の算出が出来る		
					⑥ 旅行業界基本知識が身に付く		
					⑦ 業界アルファベット読みが出来る		
					⑧ 子供料金の理解		
					⑨ 子供料金の算出が出来る		
					⑩ パンフレット取引条件説明の理解する		
成績評価方法	評価試験（50%）、課題提出（30%）、出席率・学習意欲（20%）						
使用テキスト ／教材	旅行会社パンフレット・パソコン						
関連科目	旅行業務応用						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	航空予約基礎						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	白鳥 佑弥						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	国内航空運賃・料金の基礎知識を習得し、国内旅行業務取扱管理者試験に挑戦します。また、航空予約演習の基礎知識として、世界の空港・航空会社コードなど、システム操作に必須の知識も学習します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	航空業界の基礎知識				① 航空業界の基礎知識の理解 ② 航空会社の旅客運送約款の理解 ③ 航空運賃規則と料金計算の理解	
	3～6	国内航空約款					
	7～8	国内空港コード、航空会社コード、へボン式つづり					
	9～12	前期まとめ					
	13～16	航空業界の予約システムについて					
	17～20	海外空港コード、航空会社コード					
	21～24	航空予約システムの基本操作①					
	25～28	航空予約システムの基本操作②					
	29～30	総合まとめ					
成績評価方法	評価試験（60％）、小テスト（30％）、出席率・学習意欲（10％）						
使用テキスト ／教材	ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン、国内運賃料金テキスト、Amadeusシステムユーザーガイド（予約）						
関連科目	航空予約演習、旅行業ICT基礎						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ツアープランニング基礎						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	白鳥 佑弥						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・実習	2	前期	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	国内研修を活用し『出かけてみる、見てみる、体験してみる』を目的とします。行程の作成や移動手段を調べ、実際に案内も受け持ち、その中で企画の成り立ちを学習します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業	○	その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	旅行業界・旅行会社の仕事内容について			① 旅行業界・旅行会社の業務 ② 国内旅行の企画作成 ③ 添乗員の旅程管理業務		
	3～4	実施日に向けての作業内容指示、旅行会社より行程作成の助言					
	5～6	行程完成確認、担当役割分担、行程作成手直し、役割分担下調べ					
	7～10	行程作成の下調べ					
	11～12	行程作成進捗確認、助言					
	13～14	行程確認					
	15～16	実施前プレゼン、レポート提出					
	17～18	行程作成手直し					
	19～20	最終行程の完成					
	21～26	国内研修					
	27～28	実施後のレポート作成					
	29～30	実施後の報告プレゼン、総合まとめ					
成績評価方法	報告プレゼン（50%）、小テスト（30%）、出席率・学習意欲（20%）						
使用テキスト ／教材	旅行会社作成資料、ワークシート（行程作成用データ）						
関連科目	ツアープランニング演習						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	旅行業法規						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	杉山三幸						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	旅行業法と旅行業約款と旅行業でのルールについて学習し、国内旅行業務取扱管理者試験に挑戦します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	旅行業法（目的・定義・登録制度・営業保証金など）					
	3～4	旅行業法（取扱料金・取引条件説明・書面交付など）			① 旅行業法の理解		
	5～6	旅行業法（広告・旅程管理・受託契約・など）			② 旅行業約款の理解		
	7～8	旅行業法（禁止行為・登録取消・業務改善命令など）			③ 旅行申込後の解約・払い戻し計算		
	9～10	旅行業約款（募集型企画旅行契約）			④ フェリー約款の理解		
	11～12	旅行業約款（受注型企画旅行契約）			⑤ 宿泊約款の理解		
	13～14	旅行業約款（特別保証・旅行相談契約）			⑥ 貸切バス約款の理解		
	15～16	旅行業約款（国内旅客運送、宿泊モデルなど約款）					
	17～18	旅行業約款（貸切バス、フェリー、JR営業など約款）					
	19～30	答案練習					
成績評価方法	評価試験（80%）、出席率・学習意欲（20%）						
使用テキスト ／教材	ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン、 科目別問題集						
関連科目	ツアープランニング基礎、海外実務総合						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	世界遺産知識						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	杉山 三幸						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	後期	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	海外観光資源の基礎として、特に有名な世界遺産についての知識習得を目標とします。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	世界遺産の基礎知識			① 世界遺産の基礎知識 ② ツアープランニングの知識向上 ③ カウンター接客業務の予備知識 ④ 国内・海外添乗業務における観光知識		
	5～8	日本の世界遺産					
	9～12	人類の誕生と古代文明					
	13～14	アジア世界の形成と宗教					
	15～16	ヨーロッパ中世とルネッサンス、大航海時代					
	17～20	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動					
	21～24	近国家代の成立と世界近代化					
	25～28	テーマでみる世界遺産					
	29～30	答案練習					
成績評価方法	評価試験（80％）、出席率・学習意欲（20％）						
使用テキスト ／教材	世界遺産検定3級テキスト、ワークブック						
関連科目	国内観光地理、海外実務総合						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	海外渡航基礎						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	今井 美佳						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	後期	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	海外渡航・海外添乗業務の基礎知識習得を目標とします。海外渡航における基本的な流れと知識（都市名、都市コード、航空会社コード、入出国、時差など）を学習します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション、海外の国名と主な都市名			① ヨーロッパ・東南アジアの国名首都名及び主な都市名を理解できる。 ② 出入国の流れとCIQの役割を理解できる。 ③ 世界の主要航空会社の2レターコード及びアライアンスの関係を理解できる。 ④ 世界の主要空港の3レターコードを理解できる。 ⑤ 世界の時差表を用いて基本的な時差計算及び所要時間の計算ができる。		
	3～6	海外の国名と主な都市名					
	7～10	国内外の空港コード（3レター）					
	11～14	国内外の航空会社コード（2レター）					
	15～16	アライアンス					
	17～18	小テスト					
	19～22	出入国知識（旅券・査証・CIQ）					
	23～26	時差・所要時間計算					
	27～28	答案練習（総復習）					
	29～30	後期期末本試験					
成績評価方法	後期期末本試験（60％）、小テスト（30％）、出席率・学習意欲（10％）						
使用テキスト／教材	講師作成資料、OAG世界の時差表						
関連科目	航空予約演習						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	添乗業務演習						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	白鳥 佑弥						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	2	後期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	添乗業務の基本的な流れや知識を学び、1年次に実施される海外研修を実践の場とし、添乗員として参加学生向けに海外渡航の魅力や注意点等を説明できることを目標とします。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	○	・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～4	海外研修渡航先の情報収集				① 海外旅行の注意点 ② 海外渡航先情報の収集 ③ 海外旅行の添乗方法 ④ 旅行説明会のプレゼン方法	
	5～8	利用空港の情報収集					
	9～10	利用空港での注意点を踏まえての誘導のシミュレーション					
	11～12	シミュレーションの振り返り、検証					
	13～14	渡航手続き時の注意事項と解説					
	15～18	渡航先入国手続きの注意事項、空港での注意事項の確認					
	19～22	入国手続きでのシミュレーションと振り返り					
	23～24	渡航先出国時の注意事項					
	25～26	出国手続きでのシミュレーションと振り返り					
	27～30	まとめ					
成績評価方法	プレゼンテーション（説明会）（40%）、課題提出物（30%）、出席率・学習意欲（30%）						
使用テキスト ／教材	ワークシート（課題提出物）						
関連科目							
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ホテル概論						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	水谷 和史・青柳 宗宏						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・実技	2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	ホテル業界を体系的に理解するため、業界の歴史やホテルブランド、職種ごとの業務や専門用語など、業界全般の知識習得を目標とします。知識定着確認のためホテルビジネス実務検定試験に挑戦します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ ○
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他 ○
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	ホテルの基礎（・実務者の基本知識・ホテル英語）			①ホテル英語の基本 ②宿泊部門に関わる業務知識 ③料飲部門に関わる業務知識 ④宴会部門に関わる業務知識 ⑤調理部門に関わる業務知識 ⑥ホテルブランド知識		
	5～10	宿泊部門（宿泊部門の概要と実務）					
	11～16	料飲部門（料飲部門の概要と実務）、期末試験					
	17～22	宴会部門（宴会部門の概要と実務）、連携授業					
	23～26	調理部門（調理部門の概要と実務）、連携授業					
	27～28	ホテルビジネス実務検定試験					
	29～30	ホテルビジネス実務検定試験の解説					
成績評価方法	前期：期末試験（100%） 後期：検定結果（70%）・企業課題（30%）						
使用テキスト ／教材	・ホテルビジネス基礎編 ・ホテルビジネス実務検定試験の練習過去問題集						
関連科目	「食文化とレストラン」「ホテルマネジメント」「ブライダル概論Ⅱ」						
その他	・企業との連携授業を行います。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	料飲・宴会サービス実務 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	水谷 和史・青柳 宗宏						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修選択	60	2	
授業目的 到達目標	フルコース料理のサービス技術とサービス英会話の習得を目標とします。カトラリーやテーブルの名前、テーブルセッティングの方法などを実践で学び実力をつけていきます。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	コース料理の基本順序と使用するシルバー・グラスについて			10項目程度		
	7～12	会場の設営・撤収、テーブルセッティング、プレートの持ち方			① フランス料理コースの順序		
	13～18	トレイの使い方、ワイン・シャンパン・ドリンクの注ぎ方			② シルバー（カトラリー）の知識		
	19～24	サーバーの使い方、フルコースサービスの組み立て			③ グラスの知識		
	25～28	技術の復習、前期試験（7月）			④ ドリンクサービス		
	29～34	パンサービス、チューリンサービス			⑤ トレーサービス		
	35～40	サービスの練習（スピード・正確さの訓練）			⑥ プレートサービス		
	41～48	サービスの練習 （時間意識及び周囲の動きへの意識強化）			⑦ サーバーでのサービス		
	49～52	サービス練習（弱点の修正）			⑧ チューリンサービス		
	53～56	サービス練習（ブラッシュアップ）			⑨ サービスの正確さ		
	57～60	サービスの練習、期末試験			⑩ 時間制限がある条件下のサービス		
成績評価方法	前期・後期末実技試験（サービス実技）100%						
使用テキスト ／教材	ホテル英会話基礎編、レストランサービスマニュアル						
関連科目	料飲・宴会サービス実務 II						
その他	時間を意識して取り組むこと。また、周囲の動きをよく見て、先を読んだ行動をすること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ホテル宿泊実務						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	青柳 宗宏						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	後期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	宿泊部の業務理解と接客スキルを身につけるために、様々な状況下でのロールプレイを行います。それにより、ホテルエとしての接客スキルを身につけることを目標とします。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～4	宿泊部の仕事について、フロント業務					
	5～10	接客サービス理論、ベル・ドア業務、ホテル英会話				①宿泊部の実務	
	11～16	クローク、ホテル英会話				②ホテル英会話	
	17～22	接客、オペレーター（電話での案内）、ホテル英会話				③オペレーション力	
	23～28	クレーム対応				④接客力	
	29～30	期末評価				⑤クレーム対応の基本	
成績評価方法	期末試験（100%）						
使用テキスト ／教材	教員作成資料、ホテル英会話基礎編						
関連科目	プロトコール						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ブライダル概論Ⅰ							
学科・コース	国際交流科							
担当教員	草場 美奈子							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
講義		2	通年	必修選択	30	2		
授業目的 到達目標	プランナーをはじめ、ブライダル業界の仕事や業務理解を目的とします。また、挙式・披露宴の成り立ちを知るために、式のスタイルやペーパーアイテム、衣装知識まで幅広く学びます。							
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク	○
	双方向アンケート	○	ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ	
	プレゼンテーション	○	PBL	○	模擬授業		その他	
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～2	オリエンテーション						
	3～4	Lesson1 結婚とは			① ブライダルの歴史がわかる			
	5～6	Lesson2 ブライダルビジネス			② ブライダルの業務内容がわかる			
	7～10	Lesson3 ブライダルの基礎			③ 結婚式の種類がわかる			
	11～14	Lesson3 コーディネーター業務			④ 披露宴の進行がわかる			
	15～16	前期 期末試験			⑤ 結納等、結婚式関連の知識がわかる			
	17～20	Lesson5 打ち合わせ業務			⑥ 和装やドレスの知識が深まる			
	21～22	Lesson6 コンセプトシートに基づいた ブライダルアイテムの選定			⑦ ブーケや会場装花の知識が深まる			
	23～24	Lesson7 手配業務			⑧ 関連企業との関係がわかる			
	25～26	Lesson8 当日業務			⑨ 専門用語がわかる			
	27～28	ブライダルコーディネーター技能検定対策						
	29～30	後期 期末試験						
成績評価方法	前期・後期ともに期末試験（100％）※持ち込み不可							
使用テキスト ／教材	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>							
関連科目	ブライダル概論Ⅱ							
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ブライダル実務							
学科・コース	国際交流科							
担当教員	草場 美奈子							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
実技		2	後期	必修選択	30	1		
授業目的 到達目標	ブライダルプランナーの接客業務を実演できることを目標とします。新規接客から当日までの打ち合わせ業務をロールプレイング形式で実践することにより、幅広い提案力を身につけます。							
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	
アクティブラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ	○
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション 新規接客 * 来館予約				① 接客の流れがわかる ② 新規接客業務の実演ができる ③ 魅力的な案内のための表現力がつく ④ 好印象を与える立居振舞が身につく ⑤ コミュニケーション力が身につく ⑥ マーケティング知識が深まる		
	3～4	新規接客 * 来館予約 ロールプレイングテスト						
	5～8	新規接客 * アンケートからのヒアリング						
	9～12	新規接客 * チャペル案内						
	13～18	新規接客 * 会場案内グループワーク						
	19～22	新規接客 * 会場案内ロールプレイングテスト						
	23～26	新規接客 * 仮予約ロールプレイング						
	27～30	新規接客 * 成約						
成績評価方法	ロールプレイングテスト（60％）、授業取り組み姿勢（20％）、出席率（20％）							
使用テキスト ／教材	ブライダル実務テキスト/配布プリント							
関連科目	ブライダル概論Ⅰ/ブライダル概論Ⅱ							
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	テーブルコーディネート						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	前川 理子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習		2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	テーマごとのテーブルコーディネートを考え、セッティング出来ることを目標とします。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業	○	その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業の進め方					
	3～6	ブライダルテーブルコラージュ			① コラージュがわかる		
	7～8	コーディネートの目的と理念			② コーディネートの目的がわかる		
	9～10	コーディネートのデモンストレーション			③ 色彩の基礎がわかる		
	11～12	カラーコーディネート			④ コーディネートの基礎がわかる		
	13～18	テーブルコーディネートイメージ8パターン			⑤ プ・コーディネートの		
	19～20	テーブルプランニング			⑥ 記念日と日本の歳時記がわかる		
	21～26	テーブルコーディネート実習			⑦ テーブルコーディネート出来る		
	27～28	世界の記念日と歳時記					
	29～30	ブライダルテーブルプランニング					
成績評価方法	①実習・発表（40%）②出席率・積極性（30%）③提出物・レポート（30%）						
使用テキスト ／教材	text bookテーブルコーディネート ブライダル実務テキスト 配布プリント						
関連科目	ブライダル概論 フローリスト技術						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	フローリスト技術						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	田寄 節子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	花の扱い方、装花の知識、装花の基本スキルの修得を目的とします。技術の基本を身に付ける事で、装花のデザイン制作ができる事を目標としております。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業	○	その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	季節の花々の特徴と役割			① 花の特徴や花言葉がわかる ② 花の扱い方がわかる ③ アレンジメントのメカニックがわかる ④ 花を活ける事ができる ⑤ wedding ブーケ、小物の扱い方がわかる ⑥ 色彩の基本がわかる ⑦ wedding flowerの基礎知識がわかる		
	3～6	花を飾ろう					
	7～10	気持ちを伝えるフラワーギフト					
	11～14	色彩と色合わせについて					
	15～16	幸せをもたらす言い伝え					
	17～20	wedding フラワー装飾アイテムと留意点					
	21～24	会場装花のイメージ表現と定義					
	25～28	wedding ブーケと小物の扱い方					
	29～30	花の流通とフラワービジネス					
成績評価方法	①実習・提出物（30%）②積極性・授業姿勢（40%）③習熟度・理解度（30%）						
使用テキスト ／教材	・テキスト ・課題にあわせた材料 ・はさみ						
関連科目	・テーブルコーディネート ・ブライダル概論 ・ブライダル実務						
その他	※実務経験がある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ホテル・ブライダルキャリアビジョン						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	草場 美奈子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習		2	後期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	自身のキャリアプランを描き、就職活動のための準備をすることが目的です。ホテル・ブライダル業界に特化したサポートを行い、入社3年後、5年後、10年後をイメージしていきます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明、希望職種アンケート			10項目程度		
	3～8	「やりがい」「大変なこと」「イメージ」			①目指す職業でのキャリアの理解		
	9～12	業界で必要な力とは			②業界・企業研究方法		
	13～16	企業研究①			③「大変さ」と「やりがい」の理解		
	17～20	自己PR			④必要となる力の理解		
	21～24	目指す仕事と企業研究②			⑤企業名		
	25～28	志望の動機			⑥自己PRの作成		
	29～30	期末評価			⑦志望動機の作成		
成績評価方法	前期後期ともにレポート提出（60%）、レポート内容（40%）						
使用テキスト ／教材	教員作成資料						
関連科目	「キャリアサポートⅡ」						
その他	就職内定をとるための授業ではなく、就職後の目標を具体化させるための授業です。 就職活動については焦らずに、じっくりと考えましょう。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	外国語会話 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	Andrew Swift						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	This course is a student-centered English language course designed to prepare students for real-life situations they may encounter when overseas. Topics include buying train tickets, ordering food, and asking for directions.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Unit 1: At the airport			① 実用的な英語フレーズを学ぶ ② 海外経験を疑似体験する ③ 日常生活に必要な語彙を学ぶ ④ アメリカ英語とイギリス英語の違いを学ぶ		
	3~4	Unit 2: Shopping for gifts					
	5~6	Unit 3: At the train station					
	7~8	Unit 4: Food & Beverage					
	9~10	Unit 5: Hotel Stays					
	11~12	Unit 6: At the bank					
	13~14	Unit 7: Car Rental					
	15~16	Unit 8: At the pharmacy					
	17~18	Unit 9: Souvenirs					
	19~20	Unit 10: My hometown					
	21~22	Unit 11: Making Plans					
	23~24	Unit 12: Making Plans II					
	25~26	Unit 13: Asking for help					
27~28	Review Lesson 1						
29~30	Review Lesson 2						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト ／教材	Students will select content from a wide variety of graded readers.						
関連科目	外国語会話 II						
その他	This class is conducted in English.						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	TOEIC SW I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	The TOEIC® Speaking Test is a 20-minute, 11 question assessment of a person's spoken English proficiency. This course will guide students through the question types, test strategies, and test simulation.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Unit 1: Read a Text Aloud I			① テストの形式を理解する ② テスト内容を理解する ③ 試験時間を理解する ④ 採点基準を理解する ⑤ 発音の改善 ⑥ イントネーションの改善 ⑦ 流暢さの向上 ⑧ フォーマルなフレーズ		
	3~4	Unit 2: Read a Text Aloud II					
	5~6	Unit 3: Describe a Photograph I					
	7~8	Unit 4: Describe a Photograph II					
	9~10	Unit 5: Respond to Questions I					
	11~12	Unit 6: Respond to Questions II					
	13~14	Unit 7: Schedules & Advertisements I					
	15~16	Unit 8: Schedules & Advertisements II					
	17~18	Unit 9: Express an Opinion I					
	19~20	Unit 10: Express an Opinion II					
	21~22	Unit 11: Review Test 1					
	23~24	Unit 12: Review Test 2					
	25~26	Unit 13: Review Test 3					
	27~28	Unit 14: Review Test 4					
29~30	Unit 15: Review Test 5						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト ／教材	Class materials will be distributed at the start of each class.						
関連科目	TOEIC SW II						
その他	This class is conducted in English. You may require your PC sometimes. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	海外生活研修						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	山梨千恵子・関根由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	2	通年	必修選択	60	2	
授業目的 到達目標	個人の力で海外文化に触れ、海外での語学学習、就業体験を体中で経験することにより、グローバル社会で活躍出来る学生を育成する事を目指す。週1の授業によって海外語学留学を安全に有意義に実行することを目標とし、毎回の授業はそれらを実現するための課題とその作成となります。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	海外留学の目的・留学場所等について					
	3～10	自己紹介・日本について紹介プレゼン準備			① 留学の目的を知る		
	11～18	留学先概要について調査			② 自己と日本の文化について プレゼン発表が出来る		
	19～24	留学先文化について調査・プレゼン発表準備			③ 希望留学先について、調査、プレゼン発表が 出来る		
	25～28	留学先文化についてプレゼン発表			④ 海外の治安などについて、自分を守る方法を 知る		
	29～30	海外邦人安全協会講義			⑤ 留学先についての小冊子を作成する		
	31～52	留学小冊子の作成①～⑥			⑥ 留学するに当たり最終的に知っておくべき事を 知る		
	53～56	留学出発前最終確認事項の確認			⑦ 留学に必要な費用について知る		
	57～60	留学・留学後、課題提出・留学後発表会準備 留学後発表会			⑧ 留学中に毎日現地語でその日の出来事、 日本語で気づき学びについて課題を出せる		
					⑨ 留学の成果について、留学後にプレゼンが 出来る		
成績評価方法	プレゼン発表（30％）・留学後の提出物（20％） 留学準備における提出物（40％）授業態度・出欠席（10％）						
使用テキスト ／教材	講師作成プリント						
関連科目							
その他	各自毎時間PCを持参する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	海外文化研修						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	山梨千恵子・関根由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実習	・講義	2	後期	必修選択	60	2	
授業目的 到達目標	現地での語学学校・就業体験・ホームステイを通して、海外留学中に生活文化を特に意識して学び、現地で快適に暮らせるように努力することを目標とする。留学前に、現地の生活習慣や文化、ものの考え方などを学習していくとともに、滞在中は、現地の人々の生活や就業への意識・姿勢を観察し、積極的に異文化を体感し学習していくことが重要になります。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="radio"/>	フィールドワーク <input type="radio"/>	
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ	
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL <input type="radio"/>		模擬授業	その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~4	留学直前オリエンテーション					
	5~8	A科連携授業（空港でのチェックイン・機内での対応）			① 留学するに当たり最終的に知っておくべき事を知る		
	9~15	留学出発前最終確認事項、留学中の課題の確認			② 現地の語学を学び、発話力を向上できる		
	16~56	留学（ホームステイ）			③ 労働体験・ホームステイを通し、現地の生活習慣や文化、ものの考え方を学ぶ		
	57~60	留学中提出課題確認・留学後発表会について			④ 異文化の中でも自分の意思表示が出来る、相手も受け入れる姿勢を作る		
					⑤ 終業体験を通しビジネス英語・海外の労働文化を学ぶ		
					⑥ 留学中に現地語で毎日の出来事について、日本語で気づきや学びについて課題を出す		
					⑦ 留学の成果について、留学後にプレゼンが出来る		
	成績評価方法	留学（ホームステイの様子）（40%） プレゼン発表（20%） 留学中の提出物（30%） 授業態度・出欠席（10%）					
使用テキスト ／教材	講師作成プリント						
関連科目							
その他	各自毎時間PCを持参する。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	Communicative English I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	Students learn about a different country each lesson. They will learn and discuss the history, food, culture, tourist spots, and language of the country. This class is conducted in English.						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	<input type="radio"/>	ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Iceland & The Philippines			① 外国の歴史的事実を学ぶ ② 外国語で自己紹介ができる ③ 海外の観光スポットを知ることができる ④ 外国の食文化を学ぶ ⑤ 外国についての意見を書くことができる ⑥ 文化的認識を深める		
	3~4	Denmark & Jamaica					
	5~6	New Zealand & Peru					
	7~8	Canada & Italy					
	9~10	Poland & Thailand					
	11~12	Spain & Hawaii					
	13~14	Malaysia & Argentina					
	15~16	Sweden & South Korea					
	17~18	Malta & Hong Kong					
	19~20	France & Australia					
	21~22	Portugal & Germany					
	23~24	Brazil & UK					
	25~26	Holland & Mexico					
	27~28	China & New Zealand					
29~30	Norway & India						
成績評価方法	Attendance (25%)、Effort & Participation (25%)、Written Reports (50%)						
使用テキスト ／教材	Materials related to each country will be distributed at the beginning of the lesson.						
関連科目	Communicative English II						
その他	Students are required to bring their PC to class. This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ビジネス英語検定 I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	杉山 和代						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	貿易に関する基礎知識を習得する。 英文Eメールやレターの読み方、海外取引の概要を理解する。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1~2	英文レターのフォーマットとEメールの注意点					
	3~6	さまざまな場面のレターの内容理解				① 短めの英文レターが読める	
	7~8	英文Eメールに使用する略語				② 短めの英文Eメールが読める	
	9~12	さまざまな場面のEメールの内容理解				③ 基本的な貿易書類が読める	
	13~16	さまざまな貿易書類の基本的な理解				④ 信用状取引の概要がわかる	
	17~18	信用状取引の概要理解				⑤ 輸出入における、ものと書類と お金の流れがわかる	
	19~20	輸出入における、ものと書類とお金の動きの理解					
	21~24	海外取引を行う2社のEメールのやりとりの内容理解				⑥ 英語でレターとEメールの定型文が 書ける	
	25~28	さまざまな場面の英会話の内容理解					
	29~30	レターとEメールにおける定型文の英作文					
成績評価方法	前期：出席率（10%） 期末試験（90%） 後期：出席率（10%） 期末試験（90%）						
使用テキスト ／教材	日商ビジネス英語検定3級のテキストを基に講師が作成したプリント						
関連科目	ビジネス英語検定 II						
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	比較文化研究Ⅰ						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	山梨千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解力の習得を目標とし、世界の文化を歴史・宗教・政治経済などから広く学び、自国のものと比較しながら理解を深め、異文化間のコミュニケーションに役立つ知識や視点を身に付ける。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="radio"/>	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ	
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL <input type="radio"/>		模擬授業	その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	グローバル社会の基礎知識、「異文化理解力」とは			① 異文化理解の知識 ② ローコンテクスト文化・ハイコンテクスト文化の知識 ③ 移民についてのトピックの理解 ④ 世界三大宗教・世界の宗教についての基礎知識 ⑤ 世界の食文化の基礎知識 ⑥ 世界遺産・文化財についての基礎知識 ⑦ 世界の美術・芸術についての基礎知識 ⑧ メディアとエンターテインメントのグローバル化についての理解 ⑨ 世界経済の基礎知識 ⑩ 比較文化研究のプレゼンテーションができる		
	3～4	ハイコンテクスト文化・ローコンテクスト文化					
	5～6	文化の影響と社会制度・移民問題と多文化主義					
	7～10	世界の宗教・多文化共生社会					
	11～14	食文化・食習慣・風土・歴史					
	15～16	プレゼンテーション①					
	17～18	言語と文化・多種多様な非言語コミュニケーション					
	19～20	世界遺産・日本の文化遺産/文化財					
	21～22	美術と芸術・マスメディアとエンターテインメント					
	23～26	世界の経済と情報社会・デジタル化で変革する社会					
	27～30	プレゼンテーション②					
成績評価方法	出席率(50%)、授業レポート(30%)、プレゼンテーション(20%)						
使用テキスト／教材	なるほど知図帳世界2024、授業内で配布する資料						
関連科目	比較文化研究Ⅱ						
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	Vocational English I						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	Anthony Cook						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	後期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	This course is designed to provide an introduction to the various types of career in which English is used. Each unit will focus on the types of phrases and vocabulary used as well as useful information about the specific responsibilities of each line of work.						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート	○	ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Working for Airlines			① キャリアの選択肢に対する意識の向上 ② 仕事の責任についての理解を深める ③ 英語で自己紹介ができる ④ 面接での質問を理解する能力 ⑤ 面接の質問に答える能力		
	3~4	Working at Airports					
	5~6	Working at Hotels					
	7~8	Working at Tourist Attractions					
	9~10	Working with Children					
	11~12	Working with foreign languages					
	13~14	Self-Introduction in English					
	15~16	Interview Questions about Self I					
	17~18	Interview Questions about Self II					
	19~20	Interview Questions about Work I					
	21~22	Interview Questions about Work II					
	23~24	Review Lesson 1					
	25~26	Review Lesson 2					
27~28	Review Lesson 3						
29~30	Review Lesson 4						
成績評価方法	Effort & Participation (25%)、Paper Test (75%)						
使用テキスト ／教材	Materials related to each career, will be distributed at the beginning of each class.						
関連科目	Vocational English II						
その他	This class is conducted in English. ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	Mind Awareness						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	松永 祐子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	前期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	社会人として必要となる自己調整力をさまざまな角度から学んでいきます。心理学を理解するだけでなく、日常で実践することにより、自分らしい困難への対処法を見つけていくことを目指します。自己診断ツールを活用した授業も行っていきます。講義・演習形式						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明と自己紹介					
	3～6	ウェルビーイング			①他者との関係づくりのコツが分かる		
	7～10	自分の強みを知り活かす方法を学ぶ（VIA-IS診断）			②自分の強みの理解と活用法が分かる		
	11～18	選択理論心理学			③自分の感情を自分で調整できる		
	19～24	アンガーマネジメント（怒り感情の取り扱い）			④出来事への正しい認知と正しい行動が選べる		
	25～26	ストレスマネジメント			⑤ストレスの概念が理解できる		
	27～28	レジリエンス			⑥ストレスからの回復力を養うことができる		
	29～30	セルフ・コンパッション（思いやり・慈悲を学ぶ）			⑦行動のメカニズムが理解できる		
					⑧自他への思いやりの効果について理解できる		
成績評価方法	出席率（30%）授業態度（20%）提出課題（50%）						
使用テキスト ／教材	幸せの達人（ユーキャン自由国民社）・講師オリジナルワークブック						
関連科目							
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ゲストサービス I							
学科・コース	国際交流科							
担当教員	大石 麻美							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
実習	・講義	2	通年	必修選択	30	1		
授業目的 到達目標	人を感動させるモチベーションはどこから来るのか動機付けや背景を事実をもとに探り、より深い理解に繋げていきます。ケーススタディを軸にし、総合的なテーマパークの理解を目指します。型に捉われない豊かな発想力を育むことを目的とし、ロールプレイングも行います							
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>				
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	<input type="radio"/>	フィールドワーク	<input type="radio"/>
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ	<input type="radio"/>
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	模擬授業		その他	
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
	1～2	授業説明・自己紹介・ゲストサービスとは						
	3～6	テーマパークの歴史			① テーマパークの歴史を系統立てて理解できる			
	7～10	キャストのおもてなしの要素とは			② ゲストサービスの構成要素と優先順位を理解できる			
	11～14	遊園地とテーマパークの違い			③ 幅広い年齢のゲストへの基本的な対応ができる			
	15～18	ユニバーサルサービス実習			④ ゲストのご要望を察し行動できる			
	19～22	ゲストとキャスト			⑤ 特別な一日の演出に対する発想ができる			
	23～26	マジカルモーメントとは			⑥ サービスリカバリーを理解し行動できる			
	27～28	サービスリカバリーとは・まとめ			⑦ 幅広い語彙力・表現力を習得できる			
	29～30	後期試験						
成績評価方法	出欠席（30%）、授業態度（20%）、提出課題（30%）、定期試験結果（20%）							
使用テキスト ／教材	・オリジナルテキスト ・「あなたに幸せの魔法をかけるディズニーランドの言葉」							
関連科目	ゲストサービス II							
その他	・各自毎時間PCを持参する事。※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	表現技法基礎						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	太田玲子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	TPOに応じた幅広い表現力の習得を目的とします。様々な台本やオリジナル原稿を使用し、発声の基本から正確に伝わる表情のある心地よい声、話し方、伝え方に磨きをかけていきます。フリーアナウンサーレベルを目標としホスピタリティに伴った接遇マナーを音声表現技術向上でバックアップしていきます。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション 表現するとは 音声表現入門					
	3～6	基本発声練習・短文			① 自分の声を客観的に分析できる。		
	7～10	基本発声練習・商品PR1			② 正しいプロの発声法が身につく		
	11～14	基本発声練習 ナレーション初級			③ 言葉に感情を乗せて表現する事ができる		
	15～16	前期試験			④ アナウンステクニックが身につく		
	17～18	課題見つけ 基本発声練習 館内アナウンス初級			⑤ 人前で話す事がこわくなる		
	19～22	基本発声練習・館内アナウンス応用			⑥ 文章を瞬時にわかりやすく伝える事ができる		
	23～26	基本発声練習・イベント入門			⑦ TPOに応じた伝え方、話し方ができる		
	27～28	基本発声練習 試験準備			⑧ 幅広い表現力を身につける事ができる		
	29～30	後期試験					
	成績評価方法	本試験(50%)、出席(20%)、日頃の取り組み(30%)					
使用テキスト ／教材	配布プリント						
関連科目	表現技法応用						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	コンシェルジュ I							
学科・コース	国際交流科							
担当教員	諏訪 好枝							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
実習	・講義	2	通年	必修選択	60	2		
授業目的 到達目標	接客・接遇を基本にあらゆる分野においても役に立ち通用する社会人として身に付けておきたいスキルを学び、マニュアルにとらわれず自分自身で考える判断を決定する思考と行動力を目指します。							
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド	
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ	○
	プレゼンテーション	○	PBL	○	模擬授業		その他	
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・自己紹介・コンシェルジュとは				①マナーの必要性、意味を理解し、日常生活に活かしていく		
	3～6	基本マナー・言葉遣い・社会的常識とその意味合い						
	7～12	話し方・聴き方・会話のスキル・語彙について				②業種、分野に限定されない社会人として必要な基本を会得する		
	13～20	言葉遣い・好ましい言い方・表現の言い換え						
	21～28	ビジネスマナー・ビジネスメール・報告書作成				③ コミュニケーションスキルを養う		
	29～30	前期試験				④自身で考える思考力と発想を伸ばす		
	31～38	スピーチ・発表・発言・提案のスキルとは				⑤定型文に頼らない文章スキルを磨く		
	39～46	電話対応について				⑥語彙を増やす感性を磨く		
	47～52	プラスワントーク・臨機応変の対応力						
	53～58	まとめ・復習						
	59～60	後期試験（発表会）						
成績評価方法	出席（30%）、事業態度・発言（50%）、提出課題（5%）、定期試験結果（15%）							
使用テキスト ／教材	・オリジナルテキスト ・「本物の接客」 ・講師作成レジュメ							
関連科目	コンシェルジュ II							
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	ホスピタリティマインド概論						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	千葉 麻里						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修選択	30	2	
授業目的 到達目標	ホスピタリティマインド概論の基本的な知識と判断力を検定試験を通じ習得することを目標としています。毎授業小テストを実施し、理解を深め、ホスピタリティマインドの定着を図ります。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL	○	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	授業説明・ホスピタリティの基本				①ホスピタリティとサービスの違いを 理解することができる	
	3～6	これからの社会とホスピタリティ					
	7～10	ホスピタリティ・マインドの育て方				②相手に寄り添った行動ができる	
	11～14	ホスピタリティ・マナー					
	15～16	ホスピタリティ・コミュニケーション				③幅広い年齢に合った語彙・表現力を 習得することができる	
	17～18	前期試験					
	19～20	前期復習 ホスピタリティ・コミュニケーション				④顧客ニーズに対応する柔軟な提案力を 高めることができる	
	21～24	ビジネスにおけるホスピタリティ					
	25～28	検定対策（模擬試験）				⑤観察力を活かし要望を察し行動する ことができる	
	29～30	グループワーク これからの社会を考える					
	59～60	後期試験（発表会）					
成績評価方法	【前期】前期試験（50%） 小テスト（30%） 授業態度・出席率（各10%） 【後期】検定試験結果（50%） 模擬・小テスト（40%） 授業態度・出席率（各5%）						
使用テキスト ／教材	・「社会人ホスピタリティ 要点チェック&確認問題」 ・オリジナルテキスト						
関連科目	ホスピタリティマインド演習						
その他	・各自毎時間PCを持参すること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	茶道・着付け						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	見原 文子・中村 由美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	日本の民族衣装である着物と茶道の知識を通じ、日本の伝統的な立ち居振る舞いを身に着けることを目標とします。ビジネスシーンにも生かすことが出来るよう反復練習を行います。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	茶の湯の歴史 お点前の拝見					
	3～4	茶道具説明 菓子の取り方			① 亭主はお客様に気持ちの良い時間を提供できる		
	5～6	畳の上での歩き方 お辞儀の仕方 準備と片付け			② 亭主がお点前をしやすい気配りが出できる		
	7～8	割り稽古（袱紗の扱い 茶筌通し）			③ 菓子や道具から季節を味わうことができる		
	9～10	お点前（客の作法、千家十職について）			④ お抹茶を点てることができる		
	11～12	お点前総演習			⑤ 着物の種類を見分けることができる		
	13～14	茶会			⑥ 着物が自分で着れるようになる		
	15～16	着物の基礎知識 歴史と種類、名称と畳み方			⑦ 着物や帯が畳めるようになる		
	17～18	浴衣の着付と半幅帯の文庫結び			⑧ その場に合った着物を選べるようになる		
	19～20	浴衣の着付と半幅帯の文庫結び・帯のアレンジ			⑨ 美しい所作を身に付けることが出来る		
	21～22	着物の着付け 長襦袢と着物の着方			⑩ 紐や帯の結び方を習得出来る		
	23～24	着物の着付けと袋帯の結び方①					
	25～26	着物の着付けと袋帯の結び方②					
27～28	立ち居振る舞い 歩き方と座り方 和室のマナー						
29～30	着物の選び方 買い方とお手入れの仕方						
成績評価方法	出欠席（25%）、授業態度（25%）、実技の習熟度（50%）を踏まえ評価いたします。						
使用テキスト ／教材							
関連科目	華道						
その他	世界に誇る日本の伝統文化を通じて、考え方や振る舞いを学んでください。						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	異文化理解						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	山梨 千恵子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	異文化理解力の習得を目標とし、世界の文化を歴史・宗教・政治経済などから広く学び、自国のものと比較しながら理解を深め、異文化間のコミュニケーションに役立つ知識や視点を身に付ける。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 <input type="radio"/>	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ	
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL <input type="radio"/>		模擬授業	その他	
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	グローバル社会の基礎知識、「異文化理解力」とは			① 異文化理解の知識 ② ローコンテクスト文化、ハイコンテクスト文化の知識 ③ 移民についてのトピックの理解 ④ 世界三大宗教・世界の宗教についての基礎知識 ⑤ 世界の食文化の基礎知識 ⑥ 世界遺産・文化財についての基礎知識 ⑦ 世界の美術・芸術についての基礎知識 ⑧ メディアとエンターテインメントのグローバル化についての理解 ⑨ 世界経済の基礎知識 ⑩ 比較文化研究のプレゼンテーションができる		
	3～4	ハイコンテクスト文化・ローコンテクスト文化					
	5～6	文化の影響と社会制度・移民問題と多文化主義					
	7～10	世界の宗教・多文化共生社会					
	11～14	食文化・食習慣・風土・歴史					
	15～16	プレゼンテーション①					
	17～18	言語と文化・多種多様な非言語コミュニケーション					
	19～20	世界遺産・日本の文化遺産/文化財					
	21～22	美術と芸術・マスメディアとエンターテインメント					
	23～26	世界の経済と情報社会・デジタル化で変革する社会					
	27～30	プレゼンテーション②					
成績評価方法	出席率(50%)、授業レポート(30%)、プレゼンテーション(20%)						
使用テキスト ／教材	なるほど知図帳世界、授業内で配布する資料						
関連科目	異文化接遇、観光接遇地理						
その他							

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	プレゼンテーション						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	千葉 麻里						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	後期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	ご案内スキルを向上させるために、人前で話すこと、情報をまとめることの方法を学び、実践できる基礎の習得を目標とします。課題と手法を示し、原稿作成・発表を基本とします。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL	○	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明・プレゼンテーションの基本知識					
	3～4	自己紹介のプレゼンテーション			① 文章構成の基本を理解できる		
	5～6	S-AIRの体験入学時の学校紹介			② 理論的に簡潔に伝えることができる		
	7～8	ポスターワーク			③ 相手に伝わる表現力を習得できる		
	9～10	グループディスカッション ①学校の魅力について			④ 相手に理解してもらえる語彙力を習得できる		
	11～12	グループディスカッション ②学校のPR方法を考える					
	13～14	グループディスカッション ②学校内でできるSDGs			⑤ 他者の発表から、自分自身を客観的に評価することができる		
	15～18	グループワーク ①社会人として求められるスキルとは					
	19～22	グループワーク ②日本が海外に誇れる強みとは			⑥ 傾聴力を養うことができる		
	23～24	良いサービス・悪いサービスとあなたが目指すおもてなし			⑦ 自信をもって人前に立ち発言することができる		
	25～30	ミニセミナー開催					
成績評価方法	発表〔文章構成・表現力〕（50%）、課題提出（10%）、授業態度（25%）、出席率（15%）						
使用テキスト ／教材	・オリジナルテキスト						
関連科目	インフォメーションコーディネート						
その他	・各自毎時間PC持参すること。 ※実務経験のある教員が担当する科目である						

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名	EQ開発						
学科・コース	国際交流科						
担当教員	松永 祐子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	前期	必修選択	30	1	
授業目的 到達目標	社会人として必要となる自己調整力をさまざまな角度から学んでいきます。心理学を理解するだけでなく、日常で実践することにより、自分らしい困難への対処法を見つけていくことを目指します。自己診断ツールを活用した授業も行っていきます。講義・演習形式						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明と自己紹介					
	3～6	ウェルビーイング			①他者との関係づくりのコツが分かる		
	7～10	自分の強みを知り活かす方法を学ぶ（VIA-IS診断）			②自分の強みの理解と活用法が分かる		
	11～18	選択理論心理学			③自分の感情を自分で調整できる		
	19～24	アンガーマネジメント（怒り感情の取り扱い）			④出来事への正しい認知と正しい行動が 選べる		
	25～26	ストレスマネジメント			⑤ストレスの概念が理解できる		
	27～28	レジリエンス			⑥ストレスからの回復力を養うことが できる		
	29～30	セルフ・コンパッション（思いやり・慈悲を学ぶ）			⑦行動のメカニズムが理解できる		
					⑧自他への思いやりの効果について理解 できる		
成績評価方法	出席率（30%）授業態度（20%）提出課題（50%）						
使用テキスト ／教材	幸せの達人（ユーキャン自由国民社）・講師オリジナルワークブック						
関連科目							
その他							